

鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る変更点

鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の正式決定に当たり、平成 27 年 11 月 10 日開催の鴨川市総合計画審議会第 7 回会議までに提示した原案に次の事項を追加した。

第 2 章 施策・プロジェクト

2 ひとの流れ ～ 鴨川市への大きな人の流れを創る

(4) 基本的な施策と指標

④ 産学民官が一体となった戦略的・国際的な観光交流の促進

(19 頁)

エ 広域連携による観光誘客の推進

・南房総地域観光圏など、さまざまな形での広域連携による観光誘客を推進する。

(理由)

地方創生に関連し、広域的な連携による具体的な事業等が新たに計画されたことから、広域連携による施策を追加した。

1) 安房 3 市 1 町に対するレンタサイクルの寄贈

本市を含む安房地域の 3 市 1 町では、株式会社千葉銀行様から「地方創生」に向けた観光振興のためとして、平成 27 年 11 月 12 日にレンタサイクル 65 台（うち鴨川市分として 20 台）の贈呈を受けた。鴨川市では、菜畑ロードでの貸し出しなどに活用しており、今後は市町域を越えた広域的な運用なども検討する予定である。

2) 千葉県及び 14 市町の広域的な連携による事業の実施

平成 28 年度において、国の平成 27 年度補正予算に計上された地方創生加速化交付金を活用し、千葉県及び本市を含む 14 市町の広域的な連携により「さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのアクセス強化・観光プロモーション事業」※の実施を計画した。

※成田空港と鴨川市を結ぶ高速バスの実証運行を共同で行うとともに、県が行う鉄道フリー切符の販売等にあわせ、観光地としての魅力を高めるため、フリー切符やバスの利用者を対象として、駅や停留所からの二次交通の充実（レンタサイクルの一部無料化を含む。）、観光施設の割引等の特典提供などを行うもの。

(参考)

「地方創生」に向けた観光振興のための「レンタサイクル」贈呈について



平成27年11月12日

千葉銀行(頭取 佐久間 英利)は、「地方創生」に向けた地域貢献活動の一環として、ちばプロモーション協議会(会長 森田 健作)をつうじて県内市町村等へ観光用レンタサイクルを贈呈していくこととし、本日、初年度分となる65台を同協議会へ贈呈いたしましたので、お知らせします。

この活動は、「温暖な気候」と「豊かな自然」に恵まれた地域資源を千葉県の観光振興や地域経済の活性化に結び付けていくことを目的としており、今後5年間で約300台の自転車を贈呈していく計画です。

今回贈呈する65台については、館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町の3市1町で活用されます。同地域は、「日本風景街道」に『南房総・花海街道』として登録されるなど、豊かな観光資源を抱えており、自治体間の共同利用やモデルコースの整備など広域連携による経済効果にも期待ができます。今後も同協議会と協力して活動を継続することで、県内全域でのサイクルツーリズム推進を目指してまいります。

活動の概要は下記のとおりです。

記

初年度 (平成27年度)	「ちばプロモーション協議会」をつうじて南房総地域の3市1町に65台を寄贈。 内訳は下表のとおり。					
	利用先	館山市	鴨川市	南房総市	鋸南町	計
	台数	10台	20台	30台	5台	65台
	電気自転車	10台	—	30台	5台	45台
	一般の自転車	—	20台	—	—	20台
次年度以降 (平成28～31年度)	「ちばプロモーション協議会」をつうじ、千葉県下の市町村等へ初年度寄贈分を含め累計300台を目安として贈呈していく。					

当行は、今後も地域のトップバンクとしてグループをあげて「地方創生」に積極的に取組み、地域社会の持続的な発展及び活性化に貢献してまいります。

以上